

## 第 4 回 委 員 会 資 料

### 目 次

#### 【野洲駅南口】

- 1．意見の整理と対応
  - 1) 第3回委員会における意見整理と対応策・・・・・・・・・・ 1
  - 2) 歩道計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - 3) 緑化検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2．野洲駅南口駅前広場における修景の考え方
  - 2 - 1．ユニバーサルデザインとは・・・・・・・・・・ 5
  - 2 - 2．修景（色彩）に対する基本的考え方・・・・・・・・ 6
  - 2 - 3．歩道舗装・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 2 - 4．シェルター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
  - 2 - 5．その他施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

#### 【野洲駅北口】

- 3．野洲駅北口駅前広場の整備スケジュール・・・・・・・・ 17
- 4．交通量調査計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 5．北口駅前広場の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

## 1) 第3回委員会における意見整理と対応案

- ・「第3回 野洲駅周辺地区整備検討委員会」において、委員のみなさまからのご意見で検討を要したものについては、以下の通り対応いたします。

表 . 第3回委員会における意見に対する対応

項目	意見	対応案
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園児を送迎するのに、自転車に乗って駅舎前の歩道を通過して遊歩道を使っていると聞いている。安心安全の確保からどこを通れば一番安全なのか、保護者の方への注意喚起をどうされるのか。</li> <li>・ 自転車は押して歩くという指示をされたらどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車に乗っている人に対して、注意を促すために、看板を設置します。</li> </ul>
身体障がい者用乗降スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者用乗降スペースの標示について、小ロータリー側は路面示とサインをするのに、駅舎側はサインのみであるはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅舎側に追加しました障がい者用乗降スペースについては、公安委員会と協議しましたところ、小ロータリーと比較して、車両が走行する台数も多いため、かえって交通上安全が損なわれる危険性があるため、サインのみで考えたいと思います。</li> </ul>
緑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリートの間に穴をあけ芝生が植えてある製品などを使い、タクシープールなどの場所に緑化に重点を置いて整備することはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般者駐車場は、料金徴収システム（フラップ型）を除いて、緑化を行います。バスプールについては、健在、検討中です。タクシープールは、タクシーの多くがエンジンをかけたままとなることから、エンジンの熱による影響について調査検討が必要となります。</li> </ul>
モニュメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野洲らしい何かモニュメント、あるいはそれにちなんだものがほしい。野洲をアピールできるもの、歴史的には銅鐸とか祇王井川にちなんだ妓王寺など。モニュメントの下で待ち合わせをすることもできるし、人が集まる拠点みたいなところをつくっていただきたい。モニュメントを照らして夜を明るくして、にぎわいをもたせる意味でもシンボリックなものがほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで検討してきました駅前広場のレイアウト上で、ご提案のような場所を確保することはスペース的に、難しいと考えます。今後、にぎわいの場所として、アサヒビール株式会社所有地において、公共施設整備をする段階で、駅前のコンセプトと一緒に検討するほうがよいのではと考えております。なお、モニュメントではありませんが、2箇所の緑地には、シンボルツリーとして、高木を植樹したいと思います。</li> </ul>

2) 歩道計画

- ・歩道整備について、滋賀県公安委員会と協議を行い、以下の方針(案)としました。
- ・また、自転車専用レーンの設置について比較検討を行っています。

【歩道整備の方針(案)】

駅前広場は、通常の歩道と異なり、人が集まり滞留する空間であることから、自転車専用レーンを整備した場合、歩行者に対する安全性が損なわれる可能性があるため、本事業における駅前広場には自転車専用レーンを設置しない。(下表、タイプ1)

駅前広場の入口4ヶ所には、「自転車の方は、歩行者に注意してください」というサインを整備する。

横断防止柵を設置し、歩行者の安全を確保します。

注意) については、駅前広場交差点付近の歩道幅員は敷地条件上、3.0m程度の確保しかできないため、自転車専用レーンを設置するために必要な幅を確保することができない。

次項に「サイン」「横断防止柵」の位置を示す。

自転車の方は、歩行者に注意してください



図・サインイメージ

図・(例)横断防止柵

表・歩道計画の比較

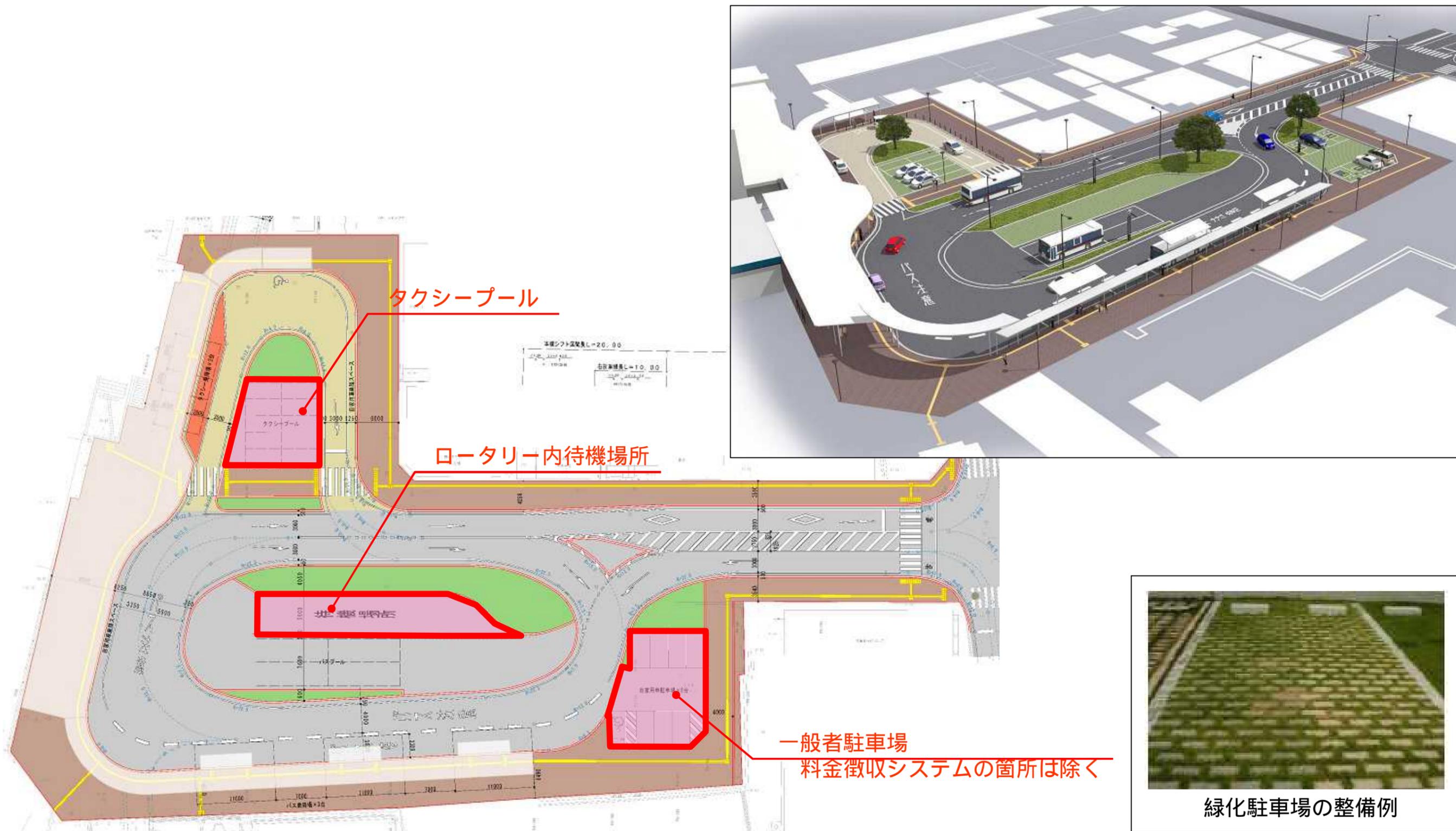
検討案	タイプ1 (自転車専用道を整備しない)	タイプ2 (歩道内に自転車専用道(幅1.0m)を整備する)	タイプ3 (路肩を自転車専用道とする) 現況と同じ利用
メリット	・歩行者の安全性がタイプ2に比べ優位である。	・自転車1台分の通行幅は確保できる。	・歩行者と自転車が構造上分離されることから、タイプ2に比べ、歩行者の安全性が優位である。
デメリット	・自転車利用者が駅前広場を利用する際のルールづくりが必要。(サインの設置によって誘導する)	・自転車同士のすれ違いができない。(自転車専用レーンに幅2.0m必要) ・自転車の走行スピードが上がり、歩行者が危険	・自転車利用者が車道と隣接することから、車両及び自転車利用者の安全性が劣る。 ・タイプ2と同様に自転車同士がすれ違えない。
断面構成			



3) 緑化検討

- ・ 駐車場及びタクシープールなどの緑化（芝）について以下にまとめます。
- ・ 緑化可能な場所は、一般者駐車場、ロータリーの待機場所、タクシープールの3箇所です。

一般者駐車場は、料金徴収システム（フラップ型）を除いて、緑化を行います。  
 バスプールについては、バスの輪荷重（T-25）が大きいことから、対応できる製品がないか、調査中です。  
 タクシープールは、タクシーの多くがエンジンをかけたままとなることから、エンジンの熱による影響について検討中です。



緑化駐車場の整備例

2-1.ユニバーサルデザインに配慮したデザインとは

- ・ユニバーサルデザインとは、ユニバーサル＝普遍的な、全体の、という言葉が示しているように、年齢や障がいの有無などにかかわらず、すべての人が利用できる「**すべての人のためのデザイン**」です。
- ・整備する駅前広場は、歩道の構造やバス停の構造などに加え、利用者の手が直接触れるベンチやサインなどの施設についても、見た目のよいデザインだけでなく、誰もが安全に安心して利用しやすいデザインとしてユニバーサルデザインに配慮する必要があります。
- ・よって、修景にはユニバーサルデザインの考え方を考慮する必要があります。
- ・駅前広場におけるユニバーサルデザインの具体的な内容は以下の通りです。

施設	方針	具体的整備
歩道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全にすれ違える歩道幅員の確保</li> <li>・段差の解消</li> <li>・歩道と車道の分離</li> <li>・歩道の緩い縦断勾配</li> <li>・路面の排水</li> <li>・視覚障がい者用誘導ブロックの整備</li> <li>・安全な明るさを確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な幅員3.5m以上の確保</li> <li>・横断歩道部の歩道の段差2cm</li> <li>・歩道高さは車道から5cm確保</li> <li>・歩道の勾配5.0%以下</li> <li>・<b>透水性舗装材の活用</b></li> <li>・<b>舗装材と誘導ブロックの色差の確保</b></li> <li>・<b>歩道照明の整備</b></li> </ul>
バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスとバス停の隙間を空けない（正着）</li> <li>・視覚障がい者への安全対策</li> <li>・円滑な乗り降り</li> <li>・休憩施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスが正着できるバス停の配置</li> <li>・<b>横断防止柵の整備</b></li> <li>・バス停の歩道高さは車道より15cm・ひさしの整備</li> <li>・<b>ベンチとシェルターの整備</b></li> </ul>
サイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示面の見やすさ</li> <li>・視覚障がい者への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさ、表示面の高さ</li> <li>・点字 ・見やすい色</li> </ul>
ベンチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすい形状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座面の高さ</li> <li>・手摺りの設置</li> </ul>

上記表の赤字は修景に対して関連する項目である。

2-3.修景（色彩）に対する基本的考え方

- ・「第3回委員会」で委員の皆様いただきました「修景計画」に対するご意見を基に検討を行います。
- ・ご意見を基に、駅前整備におけるイメージカラーを抽出し、舗装やシェルター、その他施設の色に展開し、比較検討を行います。
- ・いただきました意見から導き出されるイメージ色を以下にまとめます。
- ・検討色については、駅前広場が公共空間であることから、不適切と考えられる赤や青、ピンクなどの原色は除外します。
- ・また、検討については、以下に示すように「歩道舗装」「シェルター」「その他施設」の検討項目により行います。

	意見（第3回委員会）	意見から導き出されるイメージ色
	上品な、品がよいイメージ	・品のある清楚なイメージを持つ色は、 <b>白色</b> に近い薄い色です。
	明るい・にぎわいのある・活性化・交流・若者が集まるイメージ	・にぎわいや活気といったイメージを持つ色は、 <b>暖色系</b> （赤、橙、黄）の <b>明るい色</b> です。
	落ち着いた・すっきりした・シンプルな・けばけばしくない静かなイメージ	・落ち着きがあり、派手さの無いイメージを持つ色は、 <b>濃い色</b> であり、 <b>自然の色</b> に近いです。
	三上山・野洲川・自然を取り込んだイメージ	・野洲市にある豊かな自然環境をイメージさせる色は、上記と同様に <b>自然の色</b> です。

【検討項目】

**歩道舗装**

視野に占める面積が大きい  
舗装は、修景検討において  
最重要要素

**シェルター**

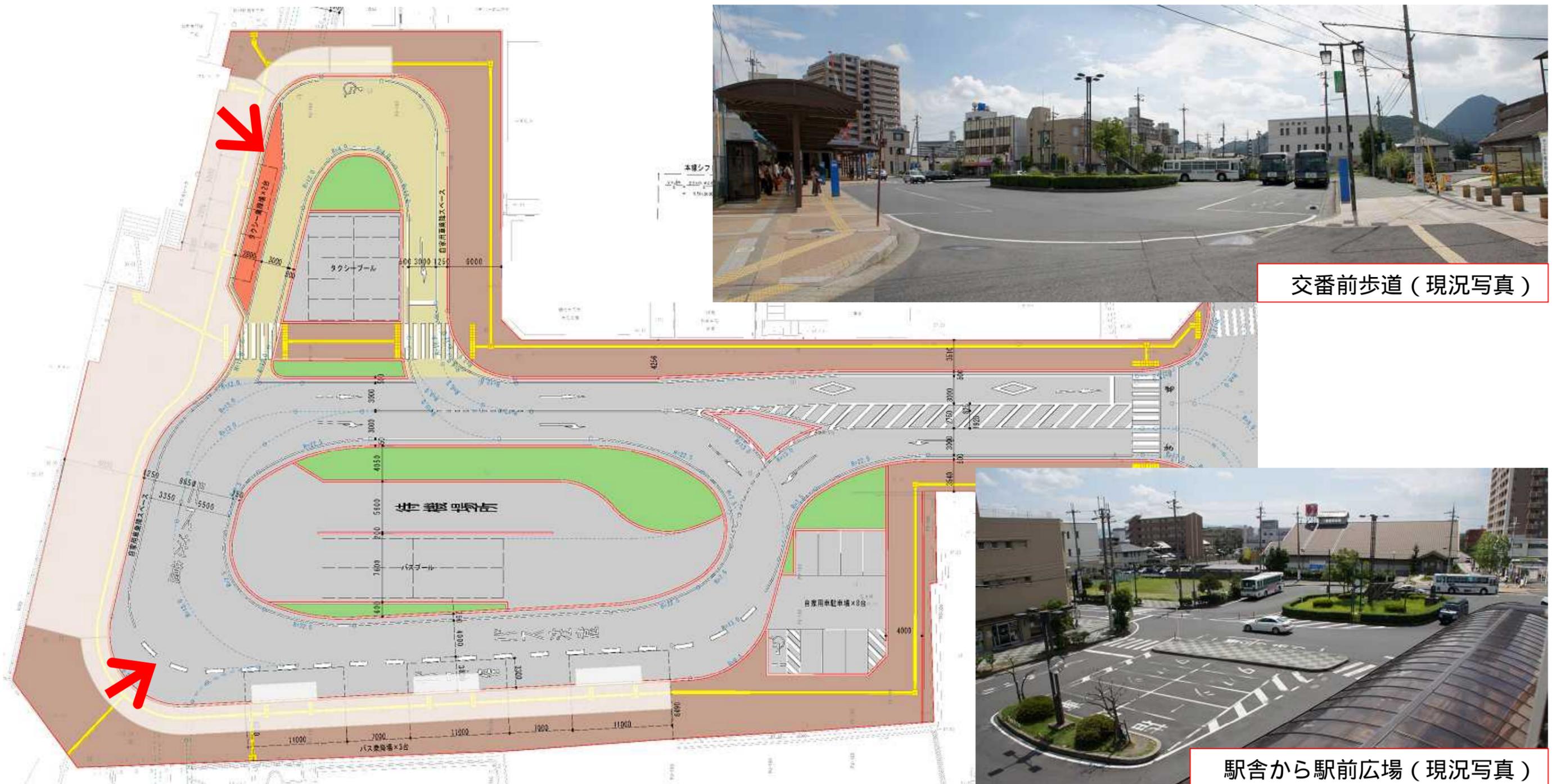
舗装の次に規模の大きい  
シェルターを検討する

**その他施設**

照明灯やサイン、防護柵  
などの小規模な施設

2-4.歩道舗装

- ・歩道舗装は、歩行者の視野に占める面積が最も大きい要素であり、修景を考える上で、最も重要な要素の1つとなります。
- ・そのため、本検討では最初に舗装の色について検討を行います。また、前項でまとめました検討色に加え、一般的な舗装であるアスファルト舗装（ブラック）も含めて検討します。
- ・舗装の色については、次ページにサンプル表示しました。視覚障がい者用誘導ブロックが視認しやすい色差の確保が必要と考えます。
- ・比較検討を行うCGの視点は、以下に示すように、「 駅舎（2F）から駅前広場」「 交番前歩道」の2視点からとします。



2-4. 歩道舗装

タイプ (ライトグレー)	タイプ (ライトブラウン)
視点 (駅舎から駅前広場)	
	
視点 (交番前歩道)	
	

視点 については、舗装色の比較であるため、タクシー乗降場の上面に設置するシェルターを非表示としています。シェルターの形状については、現段階における案です。形状については、今後の検討によって変更されます。

2-4.歩道舗装

タイプ (ダークブラウン)

タイプ (ダークグリーン)

視点 (駅舎から駅前広場)



視点 (交番前歩道)



視点 については、舗装色の比較であるため、タクシー乗降場の上面に設置するシェルターを非表示としています。シェルターの形状については、現段階における案です。形状については、今後の検討によって変更されます。

2-4.歩道舗装

タイプ (ブラック)

視点 ( 駅舎から駅前広場 )



視点 ( 交番前歩道 )



視点 については、舗装色の比較であるため、タクシー乗降場の上面に設置するシェルターを非表示としています。シェルターの形状については、現段階における案です。形状については、今後の検討によって変更されます。

2-5. シェルター

- ・シェルターは、歩道の次に歩行者の視野に占める面積が大きい要素であり、また、上部に位置することから、利用者への圧迫感にも気をつけることが必要な施設です。
- ・シェルターの材質については、維持管理が比較的容易であり、さまざまな形状（デザイン）に対応可能、シェルター下の明るさなどの観点から、膜素材を基本とします。
- ・検討については、舗装色の検討と同じ色での検討を基本として比較を行います。  
イニシャルコスト、劣化速度、シェルター下の明るさなどの比較では、最も優れる色はホワイトです。
- ・比較検討を行う視点は、シェルター下の利用者の目線となる「交番前歩道」とシェルター全体を視認することのできる「バス停横歩道」、シェルター上面を視認する「駅舎（2F）」の3視点とします。
- ・次項に作成したCGを添付します。ただし、シェルターの形状は今後の検討によって変更する場合があります。  
一般乗降場のひさしの設置については、建築限界による高さを検討する必要があり、その高さでの効果について調査しています。



2-5. シェルター

タイプ (ホワイト)

タイプ (ライトブラウン)

視点 (交番前歩道)



視点 (バス停横歩道)



視点 (バス停横歩道)



2-5. シェルター

タイプ (ダークブラウン)

タイプ (ダークグリーン)

視点 (交番前歩道)



視点 (バス停横歩道)

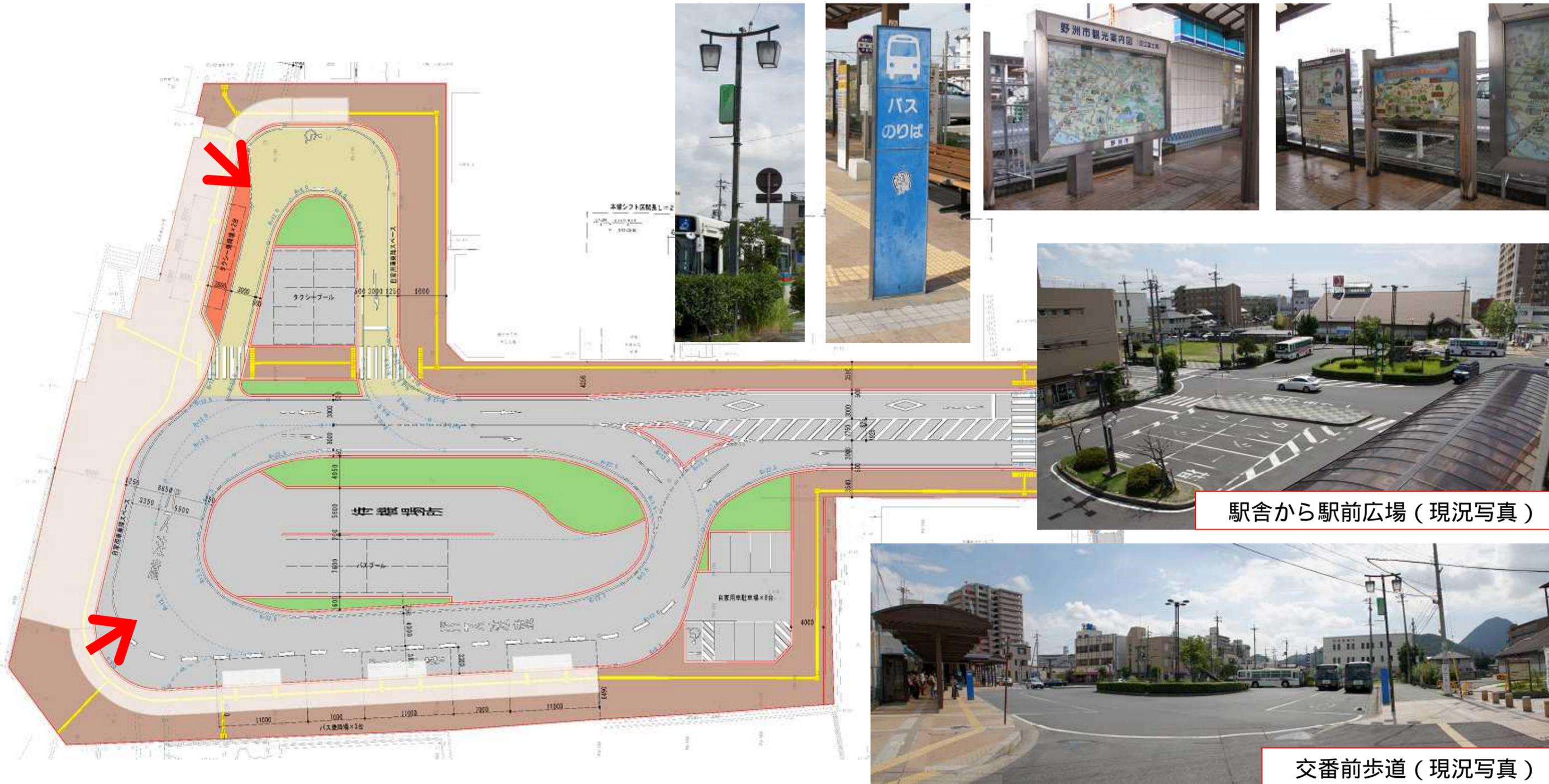


視点 (バス停横歩道)



2-6.その他施設

- ・歩道舗装、シェルター以外の照明灯や横断防止柵、サインなどのその他施設に対しての色彩検討を行います。
- ・検討については、シェルターの検討と同じ色で検討を行います。
- ・舗装の上に設置するものであることから、選定においては、舗装との連続性への配慮、周辺環境の変化への対応も考慮する必要があります。  
ダークブラウンは、一般的にどのような空間にも調和しやすい色として公共空間に適した色とされています。
- ・次項に作成したCGを添付します。

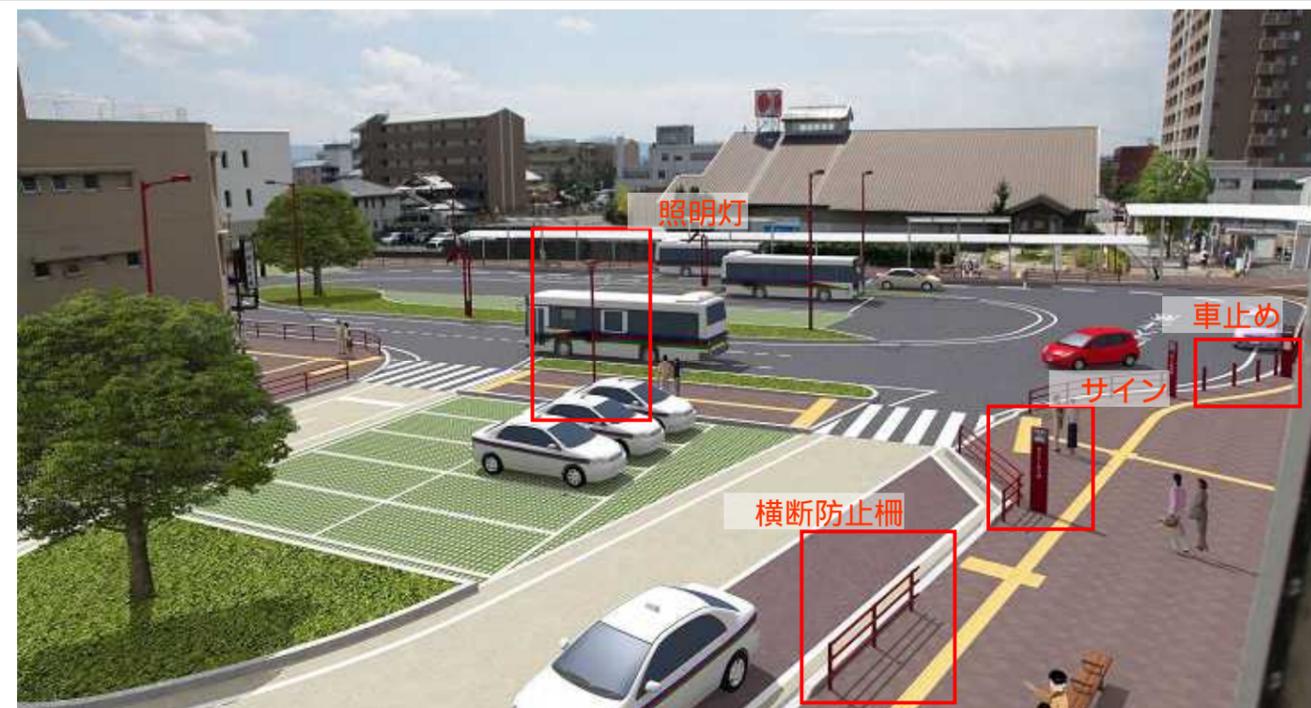


2-6.その他施設

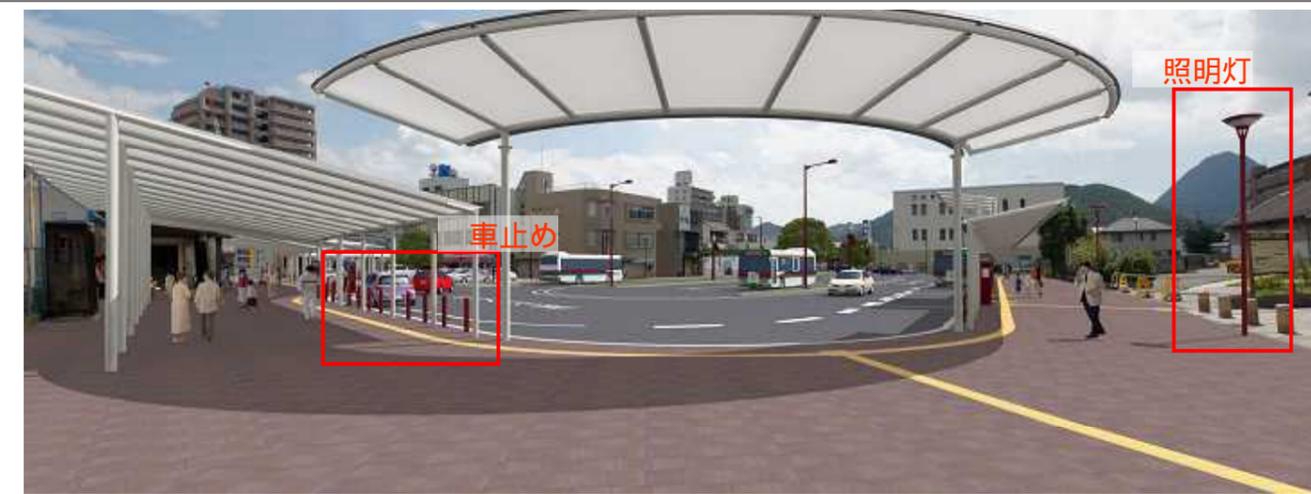
タイプ (ホワイト)

タイプ (ライトブラウン)

視点 (駅舎から駅前広場)



視点 (交番前歩道)



施設拡大図

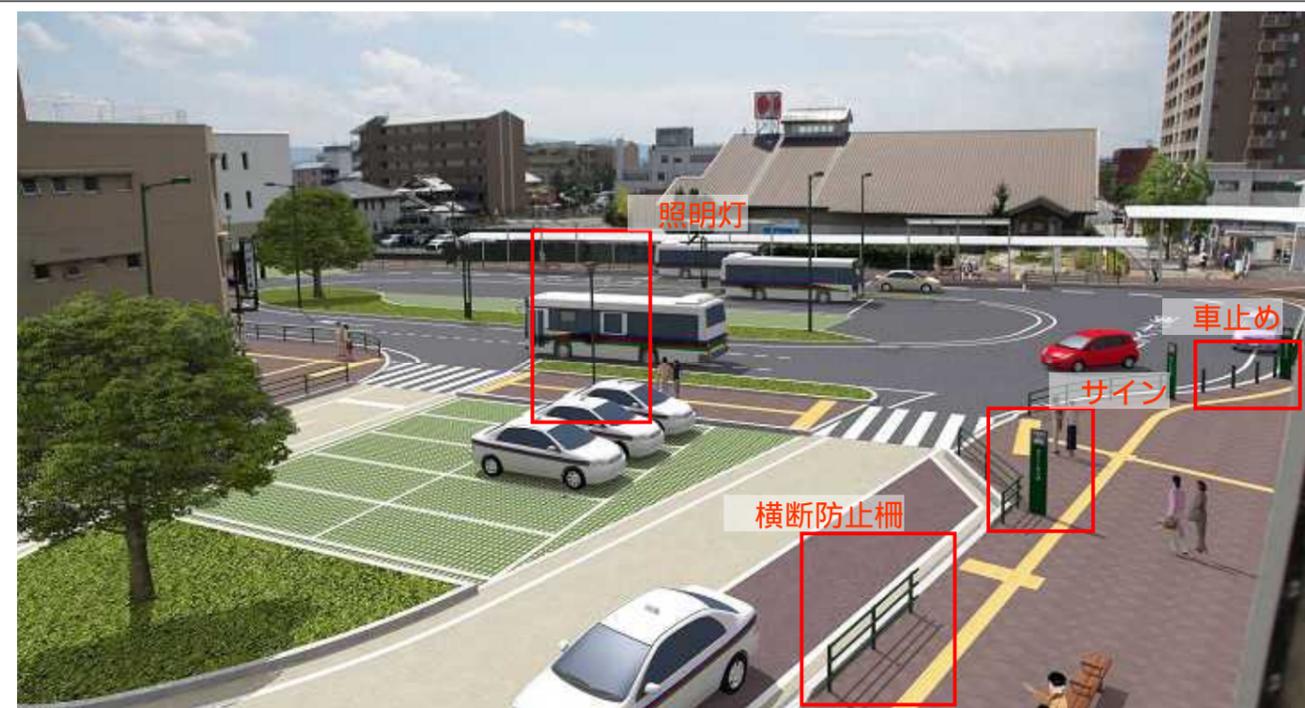
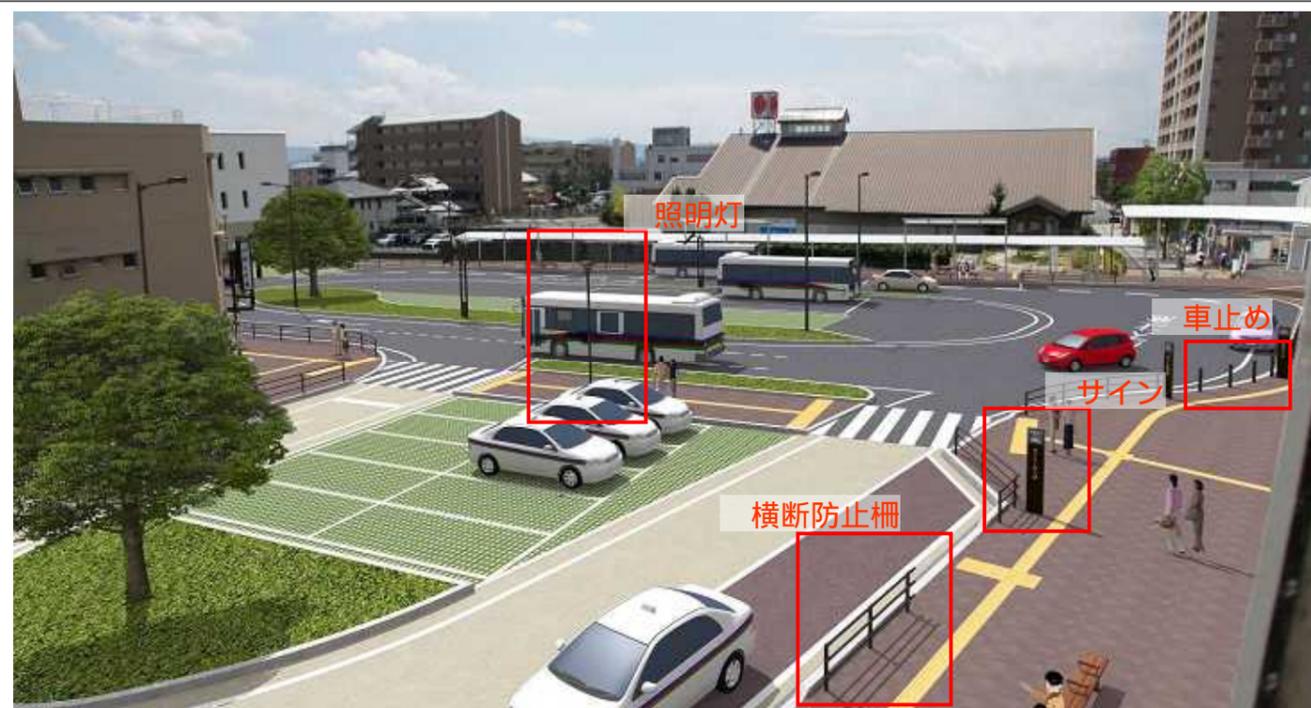


2-6.その他施設

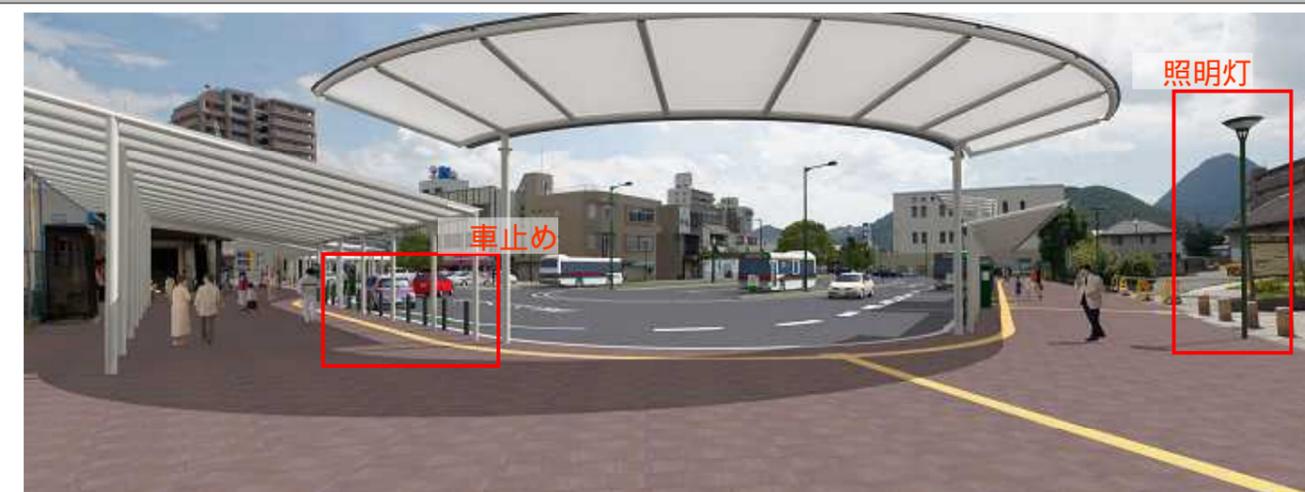
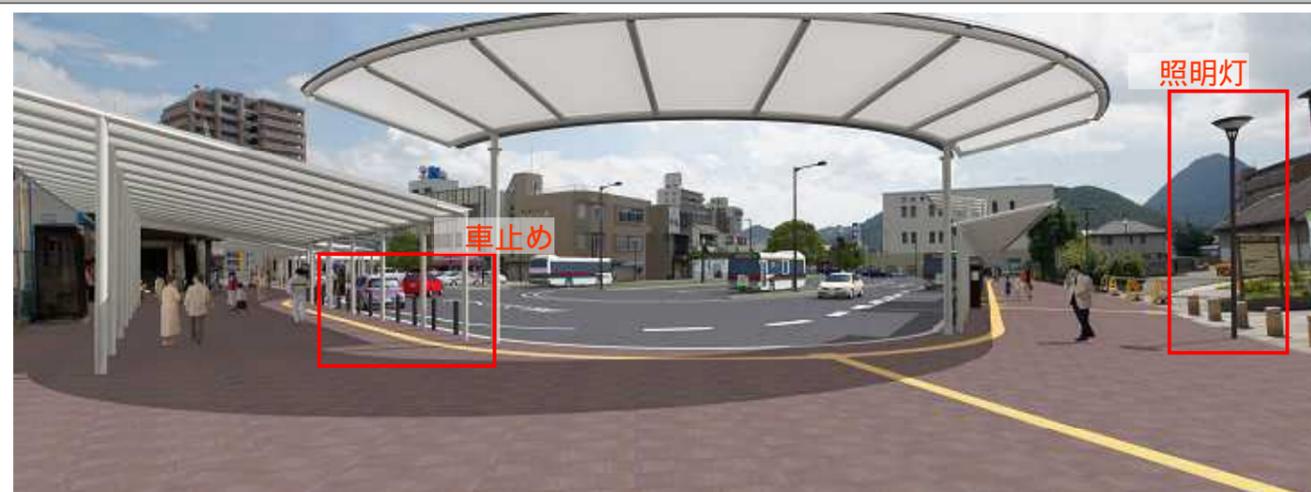
タイプ (ダークブラウン)

タイプ (ダークグリーン)

視点 (駅舎から駅前広場)



視点 (交番前歩道)



施設拡大図



- ・野洲駅北口駅前広場は、「交通量等調査」「基本設計」「詳細設計」の順で整備を進めていきます。
- ・前回委員会では、「交通量等調査」の実施を8月下旬に実施すると報告しましたが、学生が夏休みであることから、適正な調査結果を得ることが難しいと考え、通常の駅前広場利用となる10月に変更しました。

作業内容

**交通量等調査**：現在の北口駅前の利用状況を確認するとともに、北口駅前広場の抱える問題点と課題を抽出します。また、交通量等調査の内容については、次項に示します。

**基本設計**：「交通量等調査」によって明らかとなった利用実態を基に、北口駅前広場に必要なバス停やタクシー乗降場、自家用車駐車場などの規模を算定します。その各施設の規模を基に、施設の配置及びロータリーの形状を決定します。

**詳細設計**：「基本設計」の内容を持って、公安委員会やJRなどの関連機関と調整を行い、整備の最終的な設計を行います。

年	月	交通量等調査	基本設計	詳細設計	その他	委員会
23	7					7/29 第3回委員会 ・作業スケジュール ・交通量調査の計画
	8					
	9	交通量等調査の準備・検討				
	10	交通量等調査の実施				10/6 第4回委員会 ・整備に対する意見収集
	11	結果集計分析 利用者動線、交通量、利用形態	現状の問題点 及び課題の整理			
	12		施設の規模算定	詳細設計における設計方針	事業者協議 公安委員会・JR協議	11月下旬頃 第5回委員会 ・基本設計内容の確認 ・詳細設計整備方針
24	1		計画平面図 (施設レイアウトの検討) (動線計画)	詳細な整備施設の検討		1月下旬頃 第6回委員会 ・基本設計内容の確認 ・詳細設計内容の確認
	2		基本設計図の作成	設計図などの作成 (工事に必要な図書の作成)	パブリックコメント・地元説明	
	3					3月上旬頃 第7回委員会 ・詳細設計内容の確認

- ・野洲駅北口駅前広場を整備するに当たって、現在の駅前広場における問題点と課題を抽出するために交通量等調査を実施します。
  - ・調査内容については、「第3回委員会」での意見を基に修正を行い、アンケート調査を追加します。
  - ・調査結果については、駅前広場内に整備するバス停やタクシー乗降場、自家用車駐車場などの設置数や安全な交差点形状、車道構造を決定するための基礎資料として使用します。また、駅前広場内での車両の渋滞状況については、2箇所程度でビデオ撮影による調査を実施します。
- 以下に調査項目と調査目的をまとめます。詳細な調査内容については、次項にとりまとめます。

【調査日時】

- ・日付：10月の平日、休日（日曜日）の2日間
- ・時間：AM7:00～AM9:00（ただし、アンケート調査はAM7:00～PM7:00とする）

- ・調査内容は以下の通りです。

種別	課題の抽出	調査目的	調査方法	調査対象
駅前広場利用者数の把握		駅前広場に流出入する車両数及び歩行者数等を把握し、安全な交差点形状及びロータリーの車線数、バス停やタクシー乗降場の設置数などの算定根拠や横断歩道橋整備の必要性を含む検討資料とする。	交差点方向別交通量調査 乗降客数調査 アンケート調査	・車両（バス・タクシー含む） ・歩行者（自転車含む）
		駅前広場内に停車するバス、タクシー、自家用車の数を調査し、駅前広場内に必要なバスプールやタクシープール、自家用車用駐車場の設置数を算定する根拠とする。	駐停車状況調査	・車両（バス・タクシー含む）
利用者動線の把握		現在の駅前広場における車両系、歩行者系の動線を把握し、現状の利用動線における問題点を抽出する資料とする。また、動線計画における基礎資料とする。	交差点方向別交通量調査 ビデオ調査	・車両（バス・タクシー含む） ・歩行者（自転車含む）
渋滞状況の把握		駅前広場中央の横断歩道部周辺において、ピーク時に車道の交通渋滞があることから、その状況を把握する。	ビデオ調査	・車両（バス・タクシー含む）
端末交通利用の把握		駅から流出入する駅前広場利用者がどのような交通手段で駅から退出入するのか把握し、タクシー乗降場や自家用車乗降スペースの設置数の算定根拠とする。	アンケート調査 交通手段調査	・歩行者
利用者意向の把握		駅前広場利用者における駅前広場整備に対する要望の把握	アンケート調査	・歩行者

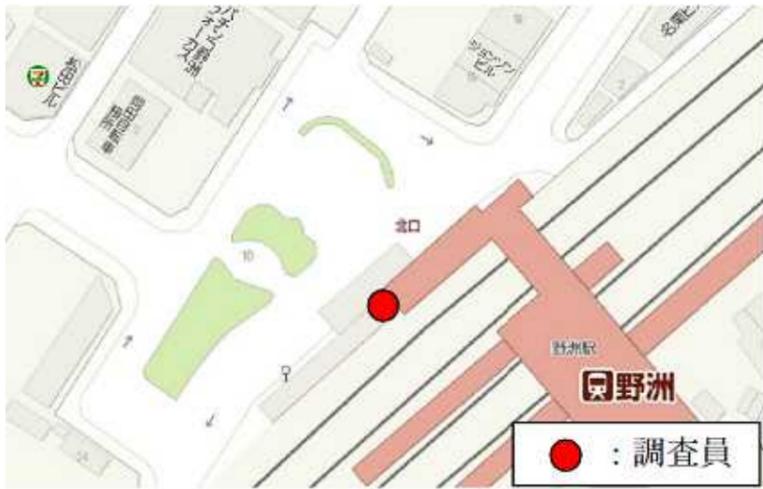
全ての調査において、調査集計は10分毎とし、駅前広場利用者の動態を把握可能とする。



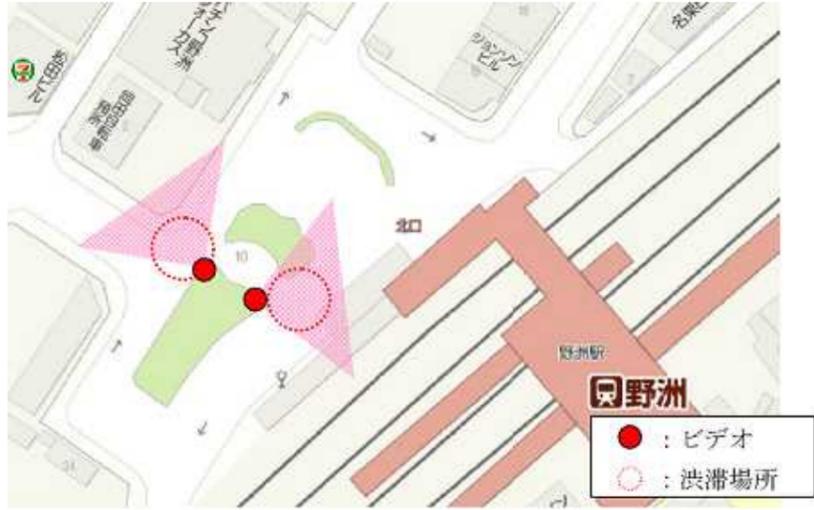
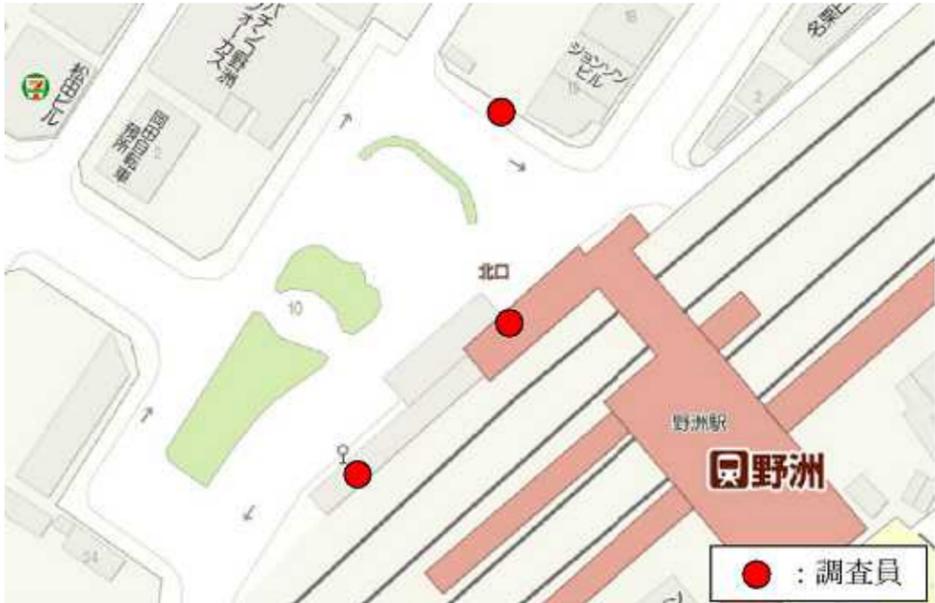
【課題の抽出】

車道動線と歩行者主導線との交差の改善      自家用車乗降スペース及び企業送迎バス発着スペースの確保      その他（修景やバリアフリーなど）

・以下に調査に対する詳細な方法をまとめる。

	交差点方向別交通量調査	アンケート調査
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場の出入口となる4箇所の交差点で駅前広場に流出入する車両数及び歩行者数を調査する。</li> <li>・ バス、タクシー、自家用車、小型貨物車、普通貨物車、歩行者、自転車の分類で通過する方向別で利用者数を調査し、利用者数と利用者動線の把握を行う。</li> <li>・ 調査に当たっては、10分毎に区分して調査を行い、ピーク時の利用者数の把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「整備に関する利用者の意向」や「末端交通手段」「周辺の交通施設（駐車場）の利用状況」について調査する。</li> <li>・ 「交差点方向別交通量調査」では周辺駐車場の利用者が歩行者としてカウントされるため、それを補う調査とする。</li> <li>・ 「交通手段調査」では、末端交通手段となる自転車を把握することが困難であることから、それを補う調査とする。</li> <li>・ アンケート調査票（案）を次項に示す。</li> </ul>
調査箇所		
	乗降客数調査	駐停車状況調査
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メインとなる出入口とエレベーター前で駅舎を出入りする利用者数を調査する。</li> <li>・ 調査に当たっては、10分毎に区分して調査を行い、ピーク時の利用者数の把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場内を4つのブロックに分割し、ブロック内に停車、駐車する車両数を調査する。</li> <li>・ 調査対象は、バス、タクシー、自家用車、小型貨物車、普通貨物車とし、駐停車する車両数を対象別に調査する。</li> </ul>
調査箇所		

・以下に調査に対する詳細な方法をまとめる。

ビデオ調査	
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前広場中央に位置する横断歩道の利用によって引き起こされる車両の渋滞状況をビデオカメラによって把握する。</li> <li>・ 調査においては、駅前広場内の植栽帯にビデオカメラを設置し、横断する歩行者数とその渋滞状況を確認する。</li> <li>・ 調査結果の集計分析においては、10分毎の横断者数とその最大渋滞延長を集計する。</li> </ul>
調査箇所	
交通手段調査	
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者が駅前広場退出入の際に利用する端末交通手段を調査する。</li> <li>・ 調査対象は、バス、タクシー、自家用車とし、利用者数を調査する。</li> </ul>
調査箇所	

野洲駅北口駅前広場に関するアンケート調査表

採取時刻 時 分

個人属性

問1. 性別  
男 女

問2. あなたの年齢は？

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳
50～59歳	60～64歳以上	65歳以上	

利用者特性

問1. 野洲駅まで(から)、どの交通機関を利用されましたか(されますか)？

徒歩	自転車	原付	自動車(送迎)
自動車	バス	その他( )	

問2. どのような目的ですか？

通勤	通学(高校・大学・その他)	買い物、レジャー	仕事
その他( )			

意向調査

問1. 現在の駅前広場でお困りのことがありますか？(複数回答可)

- 駅前の道路や広場内が渋滞する
- 歩道と車道の交差点が多い
- 一般車の乗降場・駐車場がない
- 電車とバスの乗り継ぎが悪い(理由: 位置 時間 便数 その他)
- 車いす利用者用乗降スペースの位置が遠い、わかりにくい
- 車いす利用者用乗降スペースの数が少ない
- 緑や休憩スペースがない
- その他( )

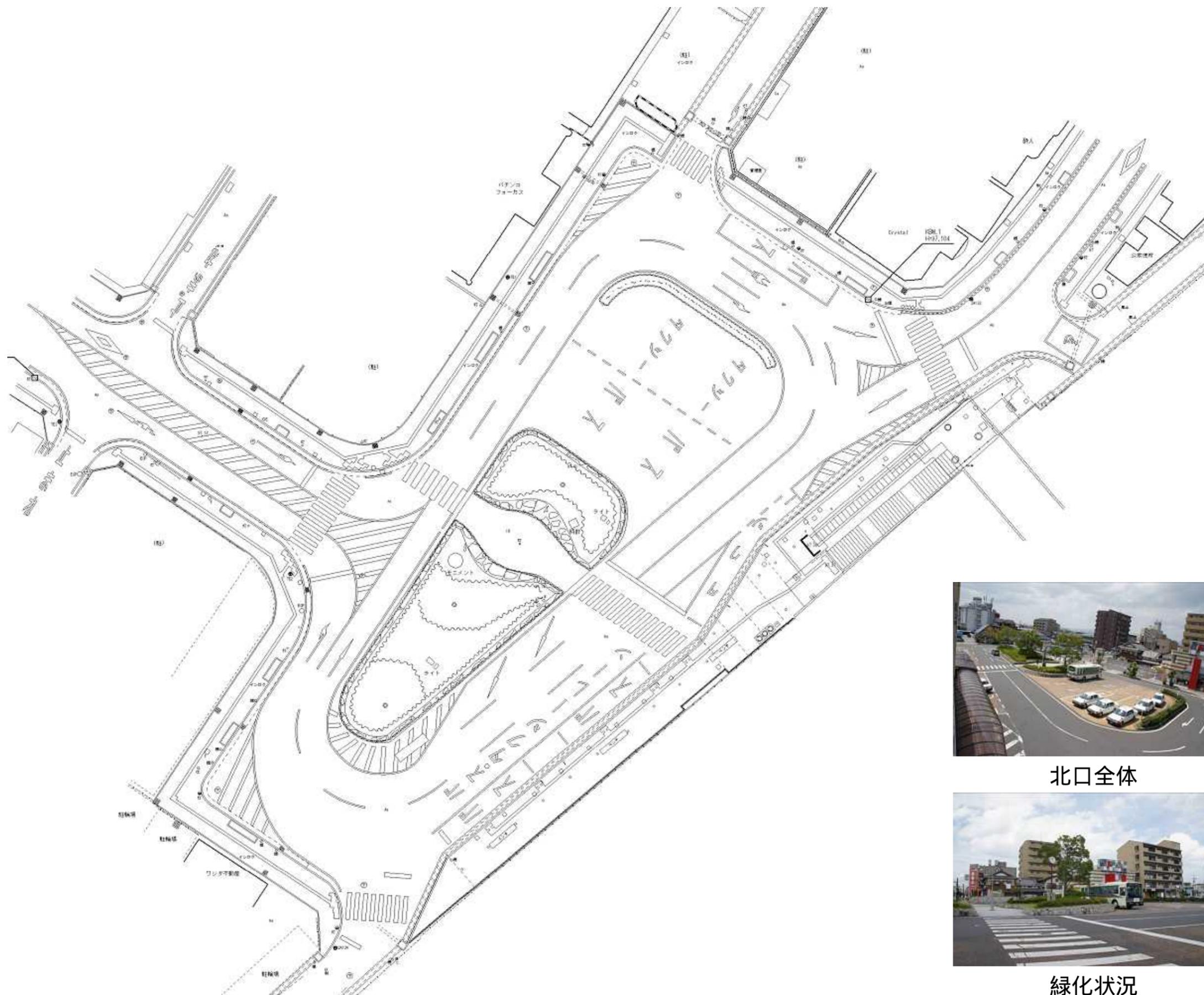
問2. 北口駅前広場にほしいと思われる施設はありますか？(複数回答可)

- 雨風や日差しを避ける屋根
- 横断歩道橋
- 時計
- その他( )

問3. その他、駅前広場に望むことはありますか？

自由意見

- 以下に現況の北口駅前広場の施設を示します。別紙の意見記入用紙にご意見を記載の上、野洲市役所まで提出ください。その内容をもって、今後の整備方針を検討させていただきます。



バス停の状況



バス停の状況



北口全体



タクシー乗降場の状況



緑化状況



緑化状況